

議員特別研修実施報告書

報告議員名	本間 利博	報告日	令和2年3月31日
調査研究・研修等 名 称	2020 ふゆトピア・フェアinとまこまい		
実 施 日	2020年 1月23日～ 1月24日		
会 場	苫小牧市総合体育館他		
調査研究・研修等の 概 要	・ ふゆトピアシンポジウム ・ ふゆトピア研究発表会 ・ ふゆトピア見本市、物産展 ・ 除雪機械展示会		
調査研究・研修等の 成果と感想	感想について別紙参照		

※1調査研究・研修等の成果を証する書類の写しを添付してください。

※2調査研究・研修等に要した費用の支出を証する書類を添付してください。

氷都「とまこまい」で創造する令和の未来
～雪と共存するまちづくりwarm community～

2020ふゆトピア・フェア in とまこまい



入場
無料

雪国の魅力、苫小牧から発信

とき

2020.
1/23(木)・24(金)

ところ

HOKKAIDO

北海道 苫小牧市

苫小牧市総合体育館(末広町3丁目2-16)
苫小牧市民会館(旭町3丁目2-2)
出光加チャ-パークラウド(市民文化公園)(末広町3丁目1)

オープニングセレモニー	1/23(木) 9:30-10:00
会場 苫小牧市総合体育館土鑑技場	
ふゆトピアシンポジウム	1/23(木) 14:00-17:00
会場 苫小牧市民会館 大ホール	
ふゆトピア研究発表会	1/24(金) 9:30-16:15
会場 苫小牧市総合体育館 第1鑑習室・第2鑑習室	
ふゆトピア展示会	1/23(木) 10:00-17:00
会場 苫小牧市総合体育館土鑑技場	1/24(金) 10:00-15:00
除雪機械展示・実演会	1/23(木) 10:30-16:00
会場 出光加チャ-パークラウド(市民文化公園)	1/24(金) 10:00-15:30
除雪機械競技会	1/24(金) 13:00-15:30
会場 苫小牧市総合体育館 駐車場	
ふゆトピア交流会	1/23(木) 18:00-19:45
会場 グランドホテルニュー王子(有料)	

【お問合せ】 2020ふゆトピア・フェアinとまこまい実行委員会事務局(国士文通舎 北海道旭川局 旭川出張所 旭川調整室)
☎ 011-709-2311 FAX 011-709-9215 ✉ hkd-ky-fuyu2020@gxb.mlit.go.jp
【ホームページ】 <https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/chousei/splaat000001mu83.html>
ふゆトピア・フェア 公式
【アプリ】 Domingo(ドミンゴ)<運営会社:クリプトン・フューチャー・メディア株式会社>



Domingo
地域密着型「情報アプリ「ドミンゴ」

北海道市町村
公認アプリ

カメラ画像を活用した吹雪自動検知技術の活用

国土交通省北海道開発局釧路開発建設部道路計画課
一般社団法人 北海道開発技術センター調査研究部

吹雪によるホワイトアウトの状態でもカメラ画像を処理することで視界が確保できる技術の紹介です。除雪機械に搭載した画像の紹介では肉眼では真っ白にしか見えない状態がモニターには前方が鮮明に確認できる技術です。雪国に生活する人たちにとって早期の実用化が望まれます。

平成28年度 北海道開発技術センター 自主事業

A. 自主研究

308 吹雪時の視認性に関する調査研究（継続）

道路画像の解析により、吹雪時の視界状況を定量的に把握する技術、吹雪量や吹きだまり量を推定する技術について、北海道大学と共同で研究を進めた。

【今年度の事業概要】

- 国土交通省建設技術開発助成制度に採用された「カメラ画像を利用した大雪および暴風雪による視程障害・吹きだまり検知に関する技術開発」の視界状況の把握、道路上の吹きだまり量の推定に本技術を活用した。
- 道路画像の解析により視界状況を評価するシステムを構築したほか、走行車両の前照灯による影響検知など、技術的な改善を行った。
- 調査研究成果を以下の関連学会等で発表した。

- CCTVカメラの画像を用いた飛雪状況の評価の可能性について(雪氷研究大会 2016・名古屋、永田・金田ほか)
- Simple Way to Estimate Snow Transports Based on Closed-Circuit Television Road Images (Transportation Research Board 96th Annual Meeting, 永田・金田ほか)

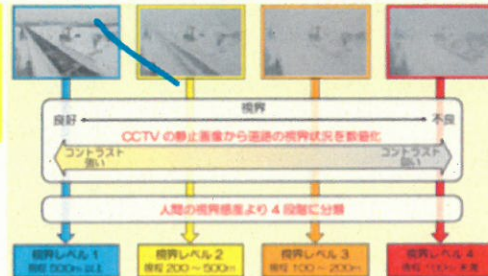


図1 視認性評価技術のイメージ

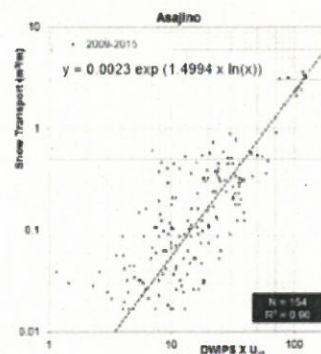


図2 画像評価値の低下量と風速の積と吹雪量の比較例

今回の感想です。

開会式後のシンポジウムでの各分野からの発表から、北海道内インバウンド観光客の8割が冬に訪れるが、暖冬の今冬は訪問客が少なかったこと、苫前

町のまちづくり企画代表はこのままでは自分たちの町をはじめ、道内の多くのまちがなくなるかもしれないと切実に語っていたことが印象にのこりました。

除雪機械に搭載が可能な全方位型監視システムのサラウンドビューやGPSを活用した位置情報活用など、実用化に向けた除雪技術が進む一方で、雪下ろしや間口除雪等の生活に密接な困難解消のための技術は未だ実用化には至っていない状況です。過疎化が進む地区でも導入できる技術の開発とまちづくり活動がリンクすることで住み続けられる地域をつくることができるように感じました。